

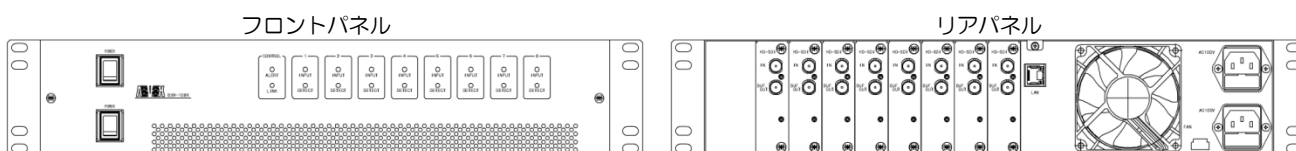
# アルビクス

## ARIB STD-B39 信号検知装置 B39-108R

### ◆特 長

- HD-SDI 信号の放送局制御信号（ARIB STD-B39）、または SCTE104 を検知する装置です。
- 検知は系統ごとに指定できます。
- 放送局制御信号は、任意のワード番号、ビット番号の制御データを検知し、変化の状態<sup>\*1</sup>を SNMP で外部通知します。
- SCTE104 は、splice\_request\_data() を検知し、変化の状態<sup>\*1</sup>を SNMP で外部通知します。  
※1 検出できる変化の最大値は 15 回/秒です。
- 筐体は 2U サイズです。
- 棚板方式で、最大 8 系統を搭載することが可能です。
- 各系統は、個別に動作します。各入力同期している必要はありません。
- 電源は二重化されています。

### ◆外観図



### ◆仕 様

<b>◆入力信号</b>	
信号数	1 系統
信号形式	HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
コネクタ	BNCコネクタ
<b>◆バッファスルー出力信号</b>	
信号数	1 系統
コネクタ	BNCコネクタ
<b>◆ARIB STD-B39</b>	
検知指定	検知する制御データは、ARIB STD-B39のワード番号、ビット番号で任意に設定します。設定は系統ごとに16箇所まで設定できます。
<b>◆SCTE104</b>	
	①検知したSCTE104データを、そのまま外部通知します。 ②splice_request_data()、alive_request_data()については、検知した内容を解析し以下の値を外部通知します。 splice_request_data() : messageSize, message_number, opID, splice_insert_type, splice_event_id, program_id, pre_roll_time, break_duration, auto_return_flag alive_request_data() : messageSize, message_number, opID
<b>◆外部通信</b>	
通信仕様	100BASE-TX/10BASE-T対応 LANインターフェース
プロトコル	HTTP（本体設定）、SNMP（検知通知）
コネクタ	RJ-45モジュラ
<b>◆外形寸法</b>	
H88mm×W430mm×D275mm（突起を含まず）	
<b>◆電源電圧</b>	
100V AC ±5%	
<b>◆消費電力</b>	
約 69W（8ch 搭載時）	
<b>◆使用温度</b>	
5℃～40℃ 結露なきこと	
<b>◆その他</b>	
電源二重化	ホットスワップ可能
ボード挿抜	ホットスワップ可能（コントロールボードを除く）
ラックマウント	専用取付金具により、EIA 2U/JIS 2J として取り付け可能です。

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974-1

アルビクス株式会社 TEL : 0256-93-5035 FAX : 0256-93-5038

Email : sales@alvix.jp URL : http://www.alvix.jp/